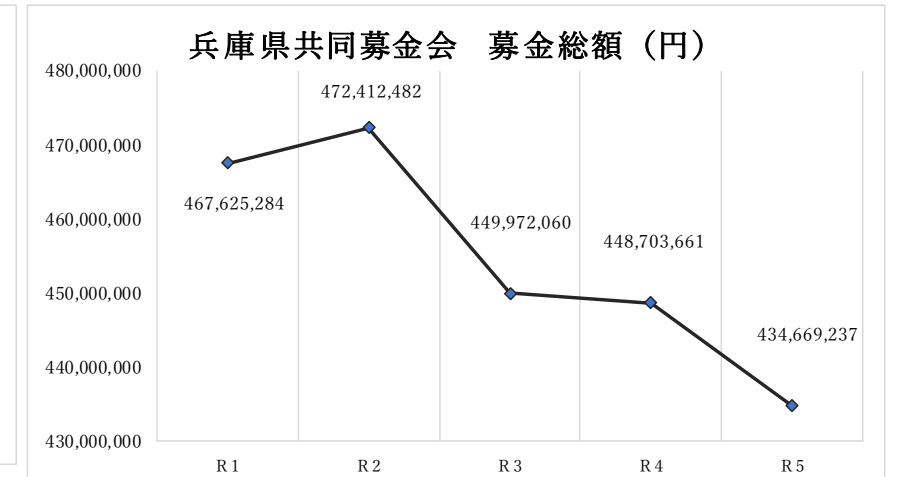
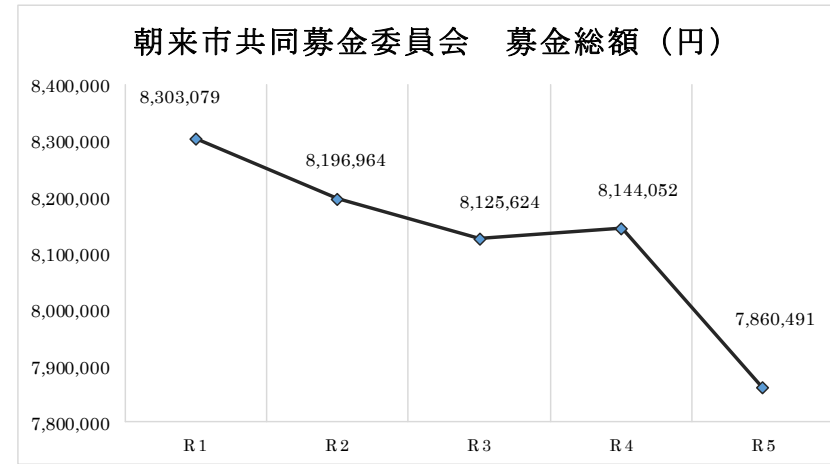


共同募金の過去5年間の実績

近年、市内だけでなく県内外でも募金額は減少傾向にあります。その中で、今後募金運動や啓発活動などもあらゆる工夫が求められ、その推進については多方面との連携・協働を呼びかけていくことが必要になっています。



地域福祉事業費配分金事業報告 (R5 年度募金実績)

共同募金は、公的サービスでは解決できない地域性のある課題に対する取り組みや、福祉に関する啓発活動へ主に充当され、地域福祉の向上を目指しています。令和4年度の募金をもとに、令和5年度の配分を受けて実施した事業は下記のとおりです。

ほっとコミュニケーション事業

市内の概ね75歳以上の要見守り世帯とし民生委員が対象と認めた方に、誕生月にお祝いの品を持参し『暮らしのアンケート』をもとに現況の聞き取りを行いました。アンケートの結果、必要に応じて調整会議を行い、可能な支援について協議しました。また、自分で調理が困難であり訪問による安否確認を必要とする方、市内の配食事業者の配達困難地域に住所を有する方に、弁当を配達しました。

R5年度 ほっとコミュニケーション事業 アンケート聞き取り数 746件
調整会議実施数 18件
へき地配食5名 432食をお届けしました



生活困窮者支援事業

離職・失業・転職等、一時的に生活に困窮された世帯に対し、それぞれの実情に応じた生活支援を行い、危機的な状況から脱却に向けた支援を行いました。



R5年度は21世帯に支援を行いました

福祉教育助成事業

市内各校・こども園に対して、「ふだんの暮らし」の中にどのような福祉課題があるかを自ら学び、課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことを目的に実施しました。



R5年度は12校3園 総額524,979円を助成しました

地域応援助成事業

誰もが寄れる身近な場所で食堂事業を開催し、世代間交流の機会を増やすことにより、地域の支え合い・助け合いづくりを推進する区に助成しました。また、地域住民が気軽に集える場所で仲間づくりや出会いの場づくりをする活動に助成しました。住民同士が安否確認や情報交換をする機会となっています。



R5年度は10地区に助成しました

広報・ホームページ活動事業

『社協だよりあさご』を年6回発行し、市内へ全戸配布。ホームページ・LINE等を使い、市民の方に分かりやすく素早く情報をお伝えしました。

